付属図書館

ブックトークvol.1！

6月21日（水）

【時間】12:50～13:50（12:40会場）
【場所】4号館1階ラーニングエリア（大階段北側）

テーマ：「韓国文学」



日本語学科　教授　長濵拓磨

📖紹介する本
『無情（무정）』（1918）李光洙（イ・グァンス）著
『翼（날개）』（1936）李箱（イ・サン）著

文学の役割の一つは、昔の姿を伝えるタイムカプセルです。2つの作品を通して、100年前、90年前にソウルで人々が何を考えどのように暮らしていたのかを見てみましょう。きっと今の韓国を理解するためのカギが見つかります。



英米語学科　4年次生　手嶋航太郎

📖紹介する本
『82年生まれ、キム・ジョン』（2018） チョ・ナムジュ著
『女ふたり、暮らしています。』（2021） キム・ハナ、ファン・ソヌ著

韓国について皆さんはどのくらい知っているでしょうか？K-POPなど素晴らしい文化がある反面、「男尊女卑」の文化があり社会問題として取り上げられています。皆さんにとって身近な韓国について理解を深めてみませんか？



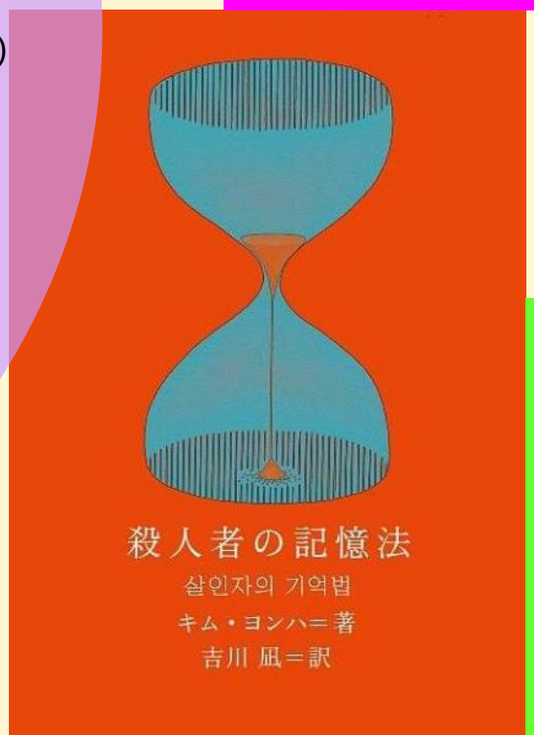


英米語学科　3年次生　小坂茉愛

📖紹介する本
『私に無害な人』（2020）チェ・ウニョン著

心を揺さぶり慰める作家と評されているチェ・ウニョン。この短編集は若い時の人間関係や痛切な思い出を繊細に描き出しています。切なさと感動が心に深く響き、余韻に浸れる作品です。ぜひその魅力的な世界に没頭してみてください。





中国語学科 1年次生 齊藤心莉

📖紹介する本
『殺人者の記憶法』（2017）キム・ヨンハ著
『菜食主義者』（2011）ハン・ガン著

「サイコホラー」と聞いて、どんなお話を思い浮かべるでしょうか。サイコパスが云々と考えられた方、このジャンルはそんな単純なものではないのです。これらのお話で、本当の「サイコホラー」を体験してください。